



西文字 公民館だより

■令和元年-4号
令和2年 3月15日発行
〒019-0513
十文字町植田字一丁目330
☎ 44-3100 FAX 44-5243



激動の年を振り返って

公民館長(兼)センター長 近 孝夫

西地区の皆様、今年度も残すところ数日となりました。この1年間、公民館で実施した地域住民による「センター事業」について、御理解と御協力そして御参加いただき心より御礼申し上げます。

今年度を振り返りますと激動の年でした。4月1日に菅官房長官が、5月1日から新年号は「令和」と発表しました。それに伴い時代を象徴する新天皇が誕生し、日本中が喜びに沸きました。加えて、日本で2回目の「東京オリンピック」が来年に迫り、その準備に勤しんでいました。しかし、12月に中国湖北省武漢で新型コロナウイルスに感染した最初の患者が確認された以降、そのウイルスが世界各国に感染しています。「不要不急の外出」や「健康管理」に十分留意し感染防止に努め、コロナウイルスを終息させ、平常な生活に早く戻れることを心から祈っております。

次に、令和2年1月29日から31日の2泊3日、国立オリンピック記念青少年総合センターで実施された「第31回全国公民館セミナー」に参加しました。その研修の中で、「これからの公民館の目指すべき」ことについて話題になった一部を報告します。

- 1 公民館が培ってきた地域との関係を生かしながら、地域の実態に応じた学習と活動を結び「地域づくり」に繋がる「新しい地域の拠点施設」を目指すことが望まれる。
- 2 全国各地で「少子高齢化に伴う核家族化」が大きな社会問題。今、正に「社会とかかわり、つながる教育」である社会教育の出番。従来の殻を破り、様々な人や団体と連携し、新しい時代の「開かれ、つながる、新しい社会教育」が不可欠である。
- 3 高知県南国市立稲生ふれあい館では、高齢者と低学年生との絵本の読み合い事業や、小さな拠点事業(3世代交流・サロン)を展開し、「病院に行く前に公民館に来てよ」「病院のサロン化から公民館のサロン化へ」を合言葉として新しい時代の公民館づくりを模索している。その結果の一つとして健康診断受診率も2年間で9ポイントアップし、医療費でも約20,000,000円減少した。
(参考:医療費 高知県全体 平成28年:約160,000,000円・平成30年:約140,000,000円)

～ 偉人の言葉に学ぼう ～

- 山県 有朋 「断じて之を行えば 鬼神を避く」
(つよく決心して断行すれば、鬼神も路を避けて意志どおりになる。)
- 河井継之助 「地下百尺庭の心を 以て事に当たる」
(死して後から考えてみて、良いという判断で仕事を成し遂げなければならない。)
「幕末維新365 言葉の知恵」より

お知らせ

4月から施設使用料金に変更になります！
詳しくは西地区館窓口へどうぞ😊

西地区館 ☎44-3100



12月～3月の事業報告



◆徘徊見守り訓練(声掛け演習) 12/15(日) 演習を通じ、認知症への理解を深めました。



◆救命講習会 1/26(日) 消防署の協力で、心肺蘇生法、異物除去法、止血法を学びました。



◆童っ子の雪まつり 2/1(土) 暖冬の中、どんど焼きや屋台に集い、賑わいました。



◆研修会 2/27(木) 大湊村干拓博物館を訪問し、東北初のジオパークを見学してきました。



◆女性講座・ごてんまり作り 3/2(月) 伝統工芸のごてんまり作りに挑戦しました！



令和元年も、あっという間に年度末を迎える時期となりました。おかげさまで、今年度も何とか無事に各事業を実施することが出来ました。ありがとうございました。



今冬は記録的な小雪で驚かされましたが、引き続いてコロナウィルス騒動があり、色々と心配は尽きませんね。少しでも早く終息し、桜色の春を迎えられるよう願っています。 ■事務担当：吉村